【令和７年　横手警察署管内の不審電話や詐欺被害について】

警察職員や金融機関職員をかたり、個人情報や口座情報を聞き出そうとしたり、ＳＮＳで知り合った相手に好意や親近感をいだかせて信用させ、現金や電子マネーを購入させて番号を聞き出すなどの詐欺の手口があります。
このような電話があった場合は、特殊詐欺を疑い、すぐに警察に相談してください。
防犯機能付き電話の利用や、電話の相手に録音していることを知らせることも特殊詐欺の被害防止に効果があります。また、国際電話がつかわれる場合もありますので、「＋」から始まる電話番号に注意してください。

No.	標　　題	発生日時	相談者	被害金品	概要
1	ＳＮＳ型ロマンス詐欺被害の発生について	令和６年12月31日（火）から令和７年１月５日（日）まで	横手市居住の40代男性	現金12万6,000円	令和６年12月31日、マッチングアプリで女性を名乗る者と知り合い、ＬＩＮＥで連絡を取り合ううちに、相手に親近感を抱くようになった。その後、相手から、「自分が経営しているショッピングサイトがある」「私たちの将来の資金を貯めるためにやってみないか」等とショッピングサイトの運営を勧められ、相手から送られてきたＵＲＬにアクセスして手続きし、ショッピングサイトを開設した。その後、同サイトの運営者をかたる者から、売上金を受け取るには、先に商品の仕入代金を振り込むように指示され、個人名義の口座に12万6,000円を振り込み、だまし取られたもの。
2	ＳＮＳ型ロマンス詐欺被害の発生について	令和６年11月下旬から同年12月20日（金）まで	横手市居住の40代男性	現金合計283万円	令和６年11月下旬頃、インスタグラムで女性を名乗る者と知り合い、ＬＩＮＥで連絡を取り合ううちに、相手に親近感を抱くようになった。その後、相手から、「自分の給料に満足しているか」「ネットショップを開業、経営してみないか」と勧められ、相手から送られてきたＵＲＬにアクセスして手続きし、ショッピングサイトを開設した。その後、ＬＩＮＥでコールセンターを名乗る者から、商品仕入れ費用名目で、指定された複数の個人名義の口座に現金を振り込むよう指示され、８回にわたり現金合計283万円を振り込み、だまし取られたもの。
3	ＳＮＳ型ロマンス詐欺被害の発生について	令和６年12月27日（金）から令和７年１月14日（火）まで	横手市居住の40代男性	現金約645万円	令和６年12月27日、マッチングアプリで女性をかたる者と知り合い、ＬＩＮＥで連絡を取り合ううちに、相手に親近感を抱くようになった。その後、相手からＳＮＳ上で広告を配信すれば、後に利益が振り込まれるが、そのためには先に広告配信費用として現金を振り込む必要があると言われ、指定された口座に７回にわたり現金合計約645万円を振り込みだまし取られたもの。
4	愛知県警をかたる不審電話の発生について	１月20日（月）午前10時30分頃	横手市居住の40代男性	なし	相談者の携帯電話に「＋８」から始まる番号から電話があり、愛知県警察をかたる男から「会社の詐欺グループを捜査している、過去にキャッシュカードを落としていないか、愛知県警に来られないか」などと言われた。相談者が電話番号を聞いたところ、「システム上１１０番すればつながる」などと言われたため、不審に思い、電話を切った。
5	愛知県警をかたる不審電話の発生について	１月20日（月）午後０時40分頃	横手市居住の30代男性	なし	相談者の携帯電話に「＋８」から始まる番号から電話があり、愛知県警察をかたる男から「捜査上に名前が浮上している、今日愛知県警に出頭できるか」などと言われた。相談者が無理だと答えたところ、電話が切れた。
6	郵便局員をかたる不審電話の発生について	１月22日（水）午前９時30分頃	横手市居住の80代女性	なし	相談者宅の固定電話に郵便局員をかたる男から電話があり「家族は一緒に暮らしているか、お金を多くもらっているから手続をとりたい」などと言われた。相談者は不審に思い、客が来たと答え、電話を切った。
7	愛知県警等をかたる不審電話の発生について	１月22日（水）午後０時45分頃	横手市居住の30代男性	なし	相談者の携帯電話に、愛知県警をかたる女から「詐欺グループのリーダー格が逮捕された、家宅捜索をしたら、あなた名義のキャッシュカードが出てきた、リモートで取調べする」等と電話があった。電話は、警視庁の警察官や検察を名乗る男に代わり、「資金洗浄だから紙幣の番号を調べれば分かる、コンビニのＡＴＭに行ったら口座番号を伝えるので全額振り込んでください、振込が終わるまでは電話を切らないでください」などと現金を振り込むよう指示された。相談者は不審に思い、通話をしたまま横手警察署に立ち寄って警察官に相談したところ、相手は一方的に電話を切ったため、被害はなかった。
8	警視庁をかたる不審電話の発生について	１月24日（金）午後０時５分頃	横手市居住の50代男性	なし	相談者の携帯電話に非通知で電話があり、警視庁捜査二課をかたる男から「事件を調べているところで、あなたの名前が出ている」等と言われた。相談者は、相手が名前を名乗らなかったことを不審に思い、これから横手署に向かうなどと答えると、相手が電話を切ったため、被害に遭わなかった。
9	ＳＮＳ型ロマンス詐欺被害の発生について	１月10日（金）から１月25日（土）まで	横手市居住の50代女性	アップルギフトカード500万円分	被害者が、音楽グループ「Da-iCE」（ﾀﾞｲｽ）のTikTokをフォローしていたところ、１月10日、同グループメンバーを名乗るアカウントから被害者のスマートフォンに、「ＬＩＮＥのアカウントを教えてほしい」とのダイレクトメッセージが届いた。その後、ＬＩＮＥでやり取り中「私たちと会うには面会を申し込む必要があり費用がかかる、銀行から300万円借りて私に送ってください」などと指示された。被害者は、１月14日から１月25日までの間、コンビニエンスストアにおいて、22回にわたってアップルギフトカード合計500万円分を購入して相手に番号を送信し、だまし取られたもの。
10	大阪府警をかたる不審電話の発生について	１月30日（木）午後０時頃	横手市居住の50代男性	なし	相談者の携帯電話に「＋」で始まる電話番号から着信があり、警察を名乗る男から「特殊詐欺の犯人が捕まり、あなた名義のキャッシュカードが押収された」等と言われた後、大阪府警や検察を名乗る男に電話が代わり、ビデオ通話で逮捕状と書かれた紙を見せられ「あなたの口座を凍結する、犯人かどうかを確認するためにお金を振り込んでもらう、照合すれば犯人かどうか分かる、100万円振り込めるか」などと言われた。相談者は不審に思い、近くの交番に相談に行き、被害はなかった。
11	特殊詐欺被害の未然防止功労に対する署長感謝状の贈呈について			なし	ＪＡ秋田ふるさと山内支店職員は、１月28日、来店した男性が送金手続をしようとしたため、理由を確認したところ「未公開株を購入する」などと申し立てたことから、特殊詐欺の被害を疑い、警察へ通報するなどし、被害を未然に防止したもの。

12	大阪府警をかたる不審電話の発生について	１月31日（金）午後０時15分頃	横手市居住の40代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋８０」から始まる電話番号から着信があり、大阪府警をかたる男から「マネーロンダリングの事件の捜査中にあなた名義のキャッシュカードが出てきた、容疑者になっているので大阪府警に来てもらえないか、信用できなければ秋田県警に令状を持っていかせる」などと言われた。相談者は、電話をつないだまま近くにいた知人に相談したところ、詐欺の疑いがあると言われたため、電話を切った。
13	ＮＴＴ代理店をかたる不審電話の発生について	２月１日（土）午前11時30分頃	横手市居住の40代女性	なし	相談者宅の固定電話機に、ＮＴＴの代理店をかたる自動音声から「この電話番号は２時間後につながらなくなります、詳しくは番号を押してオペレータに確認してください」と電話があった。相談者が固定電話機の番号を押したところ、電話に出たオペレータを名乗る男から「ＮＴＴの不具合です、お客様の個人情報を確認するので名前、生年月日を教えてください」と言われ、個人情報を答えたところ、電話が切れた。その後、男からの連絡はなく、現在のところ金品等の要求や被害はないが、不安に思った相談者が警察署に相談したもの。
14	ＮＴＴファイナンスをかたる不審電話の発生について	２月２日（日）午後２時頃	横手市居住の50代男性	なし	相談者の携帯電話に「＋１」から始まる電話番号から着信があり、電話に出たところ、男の声で「ＮＴＴファイナンスの未納料金」に関する自動音声が流れ「１」の番号を押すように指示された。自動音声の指示に従い「１」の番号を押すと、音声通話に切り替わり、男の声で「クラウドサービスの料金が未納のため半年分を納めて欲しい、既に法的措置に入っているので裁判所から通知が来るかもしれない」などと言われた。相談者は、全く身に覚えのないことであったため、不審に思い、電話を切った後に警察に通報した。
15	長野県警をかたる不審電話の発生について	２月７日（金）午後２時35分頃	横手市居住の40代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、長野県警をかたる男から「保険証を手元に準備してください」などと言われた。相談者が無言のまま男の呼びかけに応じなかったところ、電話が切れた。
16	警視庁をかたる不審電話の発生について	２月13日（木）午後０時50分頃	横手市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、警視庁をかたる男から「今回、重大なことを伝えなければならない」などと言われた。相談者がどこの警察かや相手の連絡先を確認したところ、架空の電話番号を言われたため、不審に思った相談者が指摘したところ、電話が切れた。
17	長野県警をかたる不審電話の発生について	２月13日（木）午後５時10分頃	横手市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋８７」から始まる番号から電話があり、長野県警察をかたる男から「詐欺グループの捜査をしている、名前が名簿に載っている」などと言われた。相談者は電話の内容から詐欺だと思い、地元の横手警察署に確認すると言ったところ、男が電話を切った。
18	警視庁をかたる不審電話の発生について	２月13日（木）午後５時55分頃	横手市居住の60代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋８７」から始まる番号から電話があり、警視庁をかたる男から「長野県警からの依頼だ、長野県警捜査二課で捜査している事件の名簿に名前がある、長野県警まで出向くことはできるか。」などと言われた。相談者は電話の内容を不審に思い、地元の警察に確認すると言ったところ、男が電話を切った。
19	警察官をかたる不審電話の発生について	２月14日（金）午後５時50分頃	横手市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる電話番号から電話があり、警察官をかたる男から「警視庁と長野県警で合同捜査をしている、捜査の過程であなたの名前が浮上した、今から長野県警に来ることはできるか、一人になれるか」などと言われた。相談者が一人にはなれない旨告げたところ電話が切れた。
20	不審電話の発生について	２月21日（金）午後３時頃	横手市居住の10代男性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、自動音声で「未納料金があります、このまま支払がないと法的措置に移行します、１番を押してください」などと言われた。相談者が「１」のボタンを押したところ、男が電話に出て「29万5,000円の未納料金がある、間違いで登録した場合は救済措置で95％オフとなる、親の生年月日を教えてください」と言われた。相談者が親の名前と生年月日を答えたところ、さらに男から家族構成を聞かれたことから、相談者は詐欺を疑い電話を切った。
21	携帯電話会社等をかたる不審電話の発生について	２月25日（火）午後２時30分頃	雄勝郡東成瀬村居住の30代男性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、携帯電話会社を名乗る女から「あなた名義で不正契約されている、迷惑電話が多数発生している」などと言われた。その後、福岡県警捜査第二課を名乗る男に電話転送され「本来被害届は受け付けないが、今日は特別に受ける、あなたの電話を緊急停止することもできる」等と言われたことから、相談者は詐欺を疑い電話を切った。
22	愛知県警をかたる不審電話の発生について	２月27日（木）午前９時15分頃	横手市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、愛知県警察をかたる男から「あなたの銀行口座が犯罪に使用されている、容疑者の一人なので話を聞いてもいいか」などと言われた。相談者が、相談するのでもう一度電話してほしいと答えたところ、男は「公開捜査でないので他の人には言わないで」などと言って電話を切った。
23	ＳＮＳ型ロマンス詐欺被害の発生について	令和６年10月19日（土）から令和７年１月17日（金）まで（２月に警察相談）	横手市居住の50代女性	暗号資産合計6,020万円相当	令和６年10月、インスタグラムを通じて韓国在住の男をかたる者と知り合い、ＬＩＮＥのやり取りをするうちに相手に好意を抱くようになった。相手から「いい投資の話がある、少額からでも始められるから大丈夫だ」などと投資に誘われ、暗号資産取引業者に登録し、暗号資産の投資を始めた。相手からは利益が出ていると説明を受けていたため信用し、指定された暗号資産取引用アカウントに11回にわたり、合計6,020万円相当の暗号資産を送金してだまし取られたもの。
24	警察職員等をかたる不審電話の発生について	３月１日（土）午後１時10分頃	横手市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、電話会社の職員をかたる男から氏名や生年月日を聞かれ「あなたの名前で携帯電話が不正に契約されている、契約先は青森県の店舗で、今から２時間以内に青森警察署に被害届を出さないと携帯電話が使えなくなる」などと言われた。相談者が行けないと伝えると、緊急で被害届を受理するとして、青森警察署員を名乗る男に電話が代わった。住所や家族構成等を聞かれた後「捜査を進める上で、もう一度電話をかけるかもしれない」などと言われ、電話が切れた。不安に思った相談者が、職場の上司に相談し、詐欺の可能性を指摘され、警察に相談した。

25	警視庁職員をかたる不審電話の発生について	３月６日（木）午前９時50分頃	横手市居住の50代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、警視庁職員をかたる女から「あなたのキャッシュカードが犯罪に使用されています、この事件は京都で捜査しているので京都に来ることはできるか」などと言われた。相談者が行けないと答えたところ、
26	警視庁職員をかたる不審電話の発生について	３月６日（木）午前10時40分頃	横手市居住の40代男性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、警視庁職員をかたる男から「参考人として話を聞きたい、神奈川県警に来られるか」などと言われた。相談者が、「行けない、最寄りの警察署に確認してから電話する」と伝えると電話が切れた。
27	山口県警をかたる不審電話の発生について	３月８日（土）午後３時50分頃	横手市居住の50代男性	なし	相談者の携帯電話に「０８０」から始まる電話番号から男の声で電話があり「山口県警だが、マネーロンダリングの捜査であなたの情報が出てきた、山口県警に来ることはできるか」と聞かれた。相談者が行けないと答えたところ、男から「電話で対応するので一人になれるか、後でかけ直す」等と言われた。相談者は電話を切り、不審に思って警察に相談した。
28	警視庁をかたる不審電話の発生について	３月10日（月）午前９時30分頃	横手市居住の30代男性	なし	相談者の携帯電話に警視庁をかたる男から電話があり「あなた名義のクレジットカードが犯罪に利用されている」などと言われた。身に覚えがないことを伝えると「今日中に宮城県警に出頭してほしい、令状を持ってそちらに行く」などと言われた。相談者は、時間がないから電話を切ると伝えると、相手が電話を切った。
29	特殊詐欺被害の発生について	３月11日（火）	横手市居住の50代男性	現金合計約480万円	３月11日午前９時頃、被害者の携帯電話に警視庁捜査二課を名乗る男から電話があり「振り込め詐欺事件の被疑者が逮捕された、管轄が奈良県警なので転送する」などと言われた。電話の相手が奈良県警をかたる別の男に代わり、ビデオ通話で警察手帳らしき物を見せられ「あなたは口座を犯人グループに譲渡した、今すぐ奈良県警に出頭するか、資金調査が必要だ、出頭すると逮捕される」などと言われた。被害者は資金調査に応じると伝え、指定された口座に２回にわたり、現金合計約480万円を振り込んだ。被害者は相談した家族に詐欺だと指摘され警察に届け出た。
30	ＳＮＳ型ロマンス詐欺被害の発生について	令和６年６月頃から令和７年３月11日まで	横手市居住の60代男性	現金約786万円	令和６年６月頃、被害者のフェイスブックにオーストラリア居住の日本人女性を名乗る者から「自分はガンで闘病中だ、資産家だった夫が残した財産を日本の困っている人に寄付したい、手続きを手伝ってくれたら財産の30パーセントをプレゼントする」などとメッセージが届いた。被害者は、財産を入れた荷物を韓国経由で日本に送るための輸送料や税金名目で、指示に従い、個人名義の口座に、計８回にわたり現金合計約786万円を振り込み、だまし取られた。 ３月11日、輸送会社を名乗る者から「荷物は秋田空港に入ったが関税が230万円かかるので通れない」と追加の支払いを求めるメールがあり、不審に思い警察に相談した。
31	大阪府警をかたる不審電話の発生について	３月12日（水）午後４時10分頃	横手市居住の40代女性	なし	相談者の携帯電話に大阪府警の職員を名乗る女から「詐欺事件の犯人があなたのカードを持っていた、あなたも共謀している可能性が出てきた、このことを誰かに言えば個人情報保護法違反になる」などと電話があった。相談者は電話の内容を不審に思い、警察に相談した。
32	警察官をかたる不審電話の発生について	３月15日（土）午前11時頃	宮城県仙台市居住の30代女性	なし	相談者の携帯電話に警察をかたる男から電話があり「詐欺グループの捜査であなた名義の口座が事件に使われていることがわかった」と伝えられた。相手が捜査二課をかたる男に代わり、ＬＩＮＥ通話に誘導され、警察手帳のようなものを見せられ、「口座を詐欺グループに売ったことは罪になる、マネーロンダリングに加担した疑いがある」と言われた。来週また電話すると言われて電話が切れたが、不審に思った相談者が警察に相談した。
33	警視庁をかたる不審電話の発生について	３月17日（月）午後５時頃	横手市居住の70代女性	なし	相談者宅の固定電話に「８００」から始まる番号から電話があり「警視庁遺失物総合窓口です、重要なお知らせがあるのでこのまま聞きたい場合は１を押してください」と自動音声が流れた。相談者宅の固定電話は留守番電話設定になっており、相談者は電話に応答せず警察に相談した。
34	デジタル庁等をかたる不審電話の発生について	３月19日（水）午後１時頃	横手市居住の60代女性	なし	相談者宅の固定電話にデジタル庁管理局のハセガワを名乗る男から電話があり「あなたの携帯電話から不特定多数に迷惑メールが送られている、１時間以内に電話を止める」と伝えられた。不審に思い電話を切ると、秋田県警のミズタニという男から電話があり「これから押収する、身に覚えはないか」と聞かれた。相談者が詐欺ではないかと話すと電話が切れた。
35	奈良県警をかたる不審電話の発生について	３月28日（金）午前８時頃	横手市居住の40代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号の電話があり、奈良県警を名乗る男から「あなたはある事件の関係者になっている」などと言われた。相談者がどんな事件ですかと尋ねると相手が口ごもったため詐欺の電話だと思い、電話を切った。
36	通信局等をかたる不審電話の発生について	４月２日（水）午前８時５分頃	横手市居住の70代男性	なし	相談者の携帯電話に非通知の着信があり、通信局をかたる女から「あなたが以前使っていた電話番号が悪用されている、電話を警察庁につなぐ」などと言われた。その後、警察庁サイバー局特別捜査隊の職員を名乗る男に電話がつながったが、相談者は対応できないと伝え、電話を切った。
37	ＳＮＳ型ロマンス詐欺被害の発生について	３月17日（月）から４月３日（木）まで	横手市居住の60代男性	現金合計550万2,500円	３月17日、被害者はインスタグラムで国内居住の女性を名乗る相手と知り合い、親近感を抱き、ＬＩＮＥで連絡を取り合うようになった。相手から、指定されたサイトのスクリーンショットを送ると報酬がもらえるというサイトの利用を勧められ、被害者が試したところ、画面上では報酬が生じたように見えた。その後、高収入の副業として「仮想通貨を購入すれば、より報酬がもらえる」などと言われ、被害者は指定された個人名義の口座に８回にわたって合計550万2,500円を送金した。被害者は、サイトにたまった報酬を受け取る手続きとして、約160万円を要求されたことから、４月３日に市内の金融機関へ融資を受けるために相談に行き、職員から詐欺ではないかと指摘された。

38	年金機構等をかたる不審電話の発生について	４月８日（火）午後０時頃	横手市居住の60代女性	なし	相談者宅の固定電話に年金機構の職員をかたる男から電話があり「年金の消費税分を払い戻す書類を送っている、この電話で申請を受け付けるので使用している金融機関を教えてほしい」と言われ、通帳の金融機関名と口座番号を伝えた。その後、金融機関の職員を名乗る別の男から電話があり「残額が50万円以上ないと振り込めない」と言われたため、相談者は「別の金融機関には50万以上ある」旨伝えたところ、男から「一番近いＡＴＭに通帳とキャッシュカードを持っていくように」と言われ、電話が切れた。相談者は電話が切れた後、不審に思い警察に相談したため、被害に遭わなかった。
39	厚生労働省をかたる不審電話の発生について	４月９日（水）午後２時頃	湯沢市居住の20代女性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、厚生労働省をかたる男に「あなたの保険証が悪用されている、被害届と無関係証明書を警察署に提出しないと保険証が失効になる」「長野県のクリニックで大量の向精神薬があなた名義の保険証で処方されている、長野県警に来られるか」などと言われた。相談者が行けないと答えたところ、男から「緊急通報制度を使って長野県警につなぎます」と言われたが、その後、電波が悪くなったことから電話は切れた。相談者は話の内容を不審に思い、警察に相談したことから被害に遭わなかった。
40～44	電話会社等をかたる不審電話の発生について（５件）	４月10日（木）午前11時30分頃	横手市居住の40代男性	なし	相談者宅の固定電話にＮＴＴファイナンスをかたる自動音声で「料金が確認されないため使用を停止する、９を押してください」と流れた。その通りに操作すると男に代わり、男から住所、生年月日を聞かれたため答えた。男は「こちらで調べるのでお待ちください」と言って電話を保留にしたまま何の応答もなくなったため、相談者が電話を切った。 上記のほか、横手市の60から80代の男女４人の自宅に電話があり、自動音声や男の声で「携帯電話の契約をしているが支払いがない」「個人情報が漏れている」などと言われた。
45	電話会社をかたる不審電話の発生について	４月11日（金）午前11時30分頃	横手市居住の60代男性	なし	相談者宅の固定電話に電話会社をかたる自動音声の電話で「料金の未払いがあり携帯電話を止める」などとメッセージが流れた。指示に従い電話を操作すると電話会社をかたる女から兵庫県警二課を名乗る男に代わり「詐欺事件の捜査をしたところ、あなた名義のキャッシュカードが使われており、あなたが詐欺の被疑者になる」と言われ出頭を求められた。出頭を拒否するとＬＩＮＥのビデオ通話で運転免許証の提示と現在地の写真を送るよう言われ、指示通りにしたが、その後不審に思い、警察に相談した。
46～55	不審電話の発生について（10件）	４月12日（土）午前10時頃	横手市居住の70代男性	なし	相談者宅の固定電話にＮＴＴドコモをかたる自動音声案内の着信があり「携帯電話の未納料金がある、不明な場合は７番を押してください」などと流れた。ボタンを押すとＮＴＴのタカハシを名乗る男に「個人情報が漏れて携帯が契約されている、警察につなげる」と言われ、兵庫県警のナカムラマコトを名乗る男に電話が代わり、住所や氏名、携帯電話番号などを伝えた。その後、ビデオ通話をするよう求められたが、操作に手間取っていると「またかける」と言われ、電話が切れた。このほか、40から70代の男女９人の携帯電話や自宅の固定電話に、警視庁やＮＴＴドコモをかたる不審電話があった。
56	架空料金請求詐欺被害の発生について	４月10日（木）から４月14日（月）までの間	大仙市居住の20代男性	現金合計19万5,000円	４月10日、被害者のインスタグラムに、簡単に稼げる副業を紹介するというメッセージが届いた。付記されたＬＩＮＥのアドレスを通じ相手のアカウントを登録したところ、秘匿性の高い通信アプリ「テレグラム」をダウンロードし、資産運用サイトに登録するよう求められた。被害者はその後、テレグラムで女を名乗る者から指示され、動画配信サイトのスクリーンショットを送信したところ、決済アプリ「ＰａｙＰａｙ（ペイペイ）」に報酬として2,000円が送金された。被害者は４月14日、報酬がより高額な作業があると紹介され、必要な元金として指定されたペイペイに１万5,000円を送金したところ、高額資金を運用するというグループに招待され、指示に従い作業したが「一人３万円の損害が発生している」「全員が15万円を指定口座に振り込む必要がある」「システムエラーが解除されたら全額返還される」などと言われ、個人名義の口座に２回にわたり計18万円を振り込んだ。追加の送金を求められ、不審に思った被害者が警察署に相談した。
57	オレオレ詐欺の未然防止事案について			なし	北都銀行十文字支店に来た70代の男性が携帯電話で通話しながらＡＴＭを利用し振り込もうとしたが、ＡＴＭに不慣れな動作を不審に思った別の客が男性に声を掛け、さらに行員に事情を説明した。行員が男性から事情を聞いたところ、特殊詐欺の被害に遭い、振り込もうとしていることが判明した。行員は男性を説得して振込をやめさせたほか、警察に通報したため、男性は被害に遭わなかった。男性から話を聞いたところ、警察をかたる電話がかかってきて「詐欺グループを逮捕したところ、あなたの名前を出ている、口座番号や残高を教えてほしい」「警察で口座に入っている紙幣の指紋や番号を調べる、99万円を送金してほしい」などと言われたとのことであった。
58	特殊詐欺被害の発生について	４月12日（土）から４月14日（月）まで	横手市居住の50代男性	現金合計400万円	４月12日に被害者宅の固定電話にＮＴＴドコモをかたる男から「兵庫県内であなた名義の携帯１台が契約されている、兵庫県警に被害届を出してほしい」と電話があった。電話の相手は兵庫県警の警察官を名乗る男に代わり「あなたの口座がマネーロンダリングに利用されている」と告げられ、男性は口座の銀行名や残高を伝えた。その後、相手の指示に従ってＬＩＮＥや電話のやり取りを重ね、検事を名乗る男に「あなたの口座に残っているお金の紙幣番号を調べたい、残高の８割から９割を別の口座に移せば調べられる」などと言われ、指定された個人名義の口座へ14日まで３回にわたり現金を振り込んだ。送金後に相手との連絡が途絶えた。被害者は同様の詐欺の手口があるとインターネットで知り、警察に届け出た。
59	警察職員をかたる不審電話の発生について	４月25日（金）午前10時10分頃	湯沢市居住の50代男性	なし	相談者の携帯電話に、「＋」から始まる番号から電話があり、埼玉県警をかたる男から「重要事件で名前が挙がっている、警察に来られるか」「過去３年以内に免許証やマイナンバーカード、クレジットカードを紛失していないか」などと聞かれたため、秋田県警に問い合わせると伝えたところ、電話が切れた。

60	特殊詐欺被害の未然防止功労に対する署長感謝状の贈呈について			なし	セブンイレブン横手雄物川店は、４月23日、来店した40代女性が高額な電子マネーを購入しようとしたことから理由を確認したところ、特殊詐欺被害が疑われたため、警察へ通報するなど適切に対応し、被害を未然に防止したもの。
61	ＳＮＳ型ロマンス詐欺未遂の発生について	４月16日（水）から５月３日（土）までの間	横手市居住の70代男性	なし	４月16日、相談者はフェイスブックで片言の日本語を使う女性と知り合い、親近感を抱いて、ＬＩＮＥでやり取りを始めた。５月３日に「海外の大学で金融に関することを教えている叔父に教えてもらい、お金を稼いでいる、金が高騰しているので10万円ずつ出し合って、金を買わないか」などと誘われたが、怪しいと思い、警察に相談したため被害に遭わなかった。
62	ＳＮＳ型ロマンス詐欺未遂の発生について	４月10日（木）頃から５月11日（日）まで	横手市居住の60代男性	なし	４月10日頃、相談者がマッチングアプリで海外在住とかたる女性と知り合い、３日ほど経過してからＬＩＮＥのメッセージで連絡を取り合うようになった。相手女性から「高島屋のネットショップアプリに出店すると稼げるので手続きをしてください」などと誘われ、スマートフォンで手続きを進めた。その後、女性から「店に注文が入った、30万円で商品を前払いで購入してほしい」と言われたが、貯金がないので支払えないと伝えると、高島屋のカスタマーセンターとやり取りするよう指示され、カスタマーセンターに連絡したところ、契約違反の訴訟を起こすと言われたことから、警察に相談し被害に遭わなかった。
63	ウイルス除去名目の不審電話について	５月20日（火）午後６時50分頃	横手市居住の60代女性	なし	相談者が自宅のパソコンでインターネットサイトを見ていたところ、画面に「ウイルスに感染している」などと表示され、記された「０１０」で始まる電話番号に連絡した。対応した男に従ううちにパソコンを遠隔操作されたほか、スマートフォンに遠隔操作用アプリをダウンロードさせられ、ネットバンキングの画面が表示された。やり取りの最中に不審に思い、家族に相談したところ、詐欺ではないかと言われたことから警察に相談した。
64	特殊詐欺被害の発生について	５月上旬から５月29日（木）まで	横手市居住の40代男性	現金合計約340万円	５月上旬、被害者がインターネットで融資先を探していたところ、資金調達会社のサイトを見つけた。同サイト内に会社の売上げなどを入力すると、この会社から「融資先を探す」と連絡があった。５月中旬頃、被害者は紹介を受けたメールや電話でやり取りし、500万円の融資を受ける前提で「融資額の10パーセントを保全預託金として振り込んでほしい」「振り込まれた金額は融資額と一緒に返金する」などと言われ、９回にわたり、指定口座に現金合計約340万円を振り込んだ。被害者は約束した期日までに融資額を受け取れなかったほか、別の名目でも振り込みを要求され、警察に相談した。
65	警察職員をかたる不審電話の発生について	６月２日（月）午前10時15分頃	横手市居住の40代男性	なし	相談者の携帯電話に「＋」から始まる番号から電話があり、埼玉県警をかたる男から「マネーロンダリングに関わった疑いがある、捜査過程であなた名義の金融機関のカードが出てきた」などと言われた。その後、警視庁をかたる男に電話が代わり、ビデオ通話に誘導され、警察官の制服姿の男に、警察手帳のようなものを見せられ、相談者は指示に従って個人情報を伝えたり、キャッシュカードを提示したりした。さらに、通帳の残高も聞かれたが詐欺を疑い電話を切った。
66	ＳＮＳ型投資詐欺被害の発生について	令和６年８月27日（火）から令和７年５月１日（木）まで	横手市居住の30代女性	暗号資産合計515万円相当	被害者はインスタグラムを通じ知り合った相手から投資を勧められ、取引用に口座を開設し、昨年８月から今年５月まで計８回にわたり、指示を受けながらその口座を使って暗号資産を購入し、だまし取られた。６月14日になって相手のインスタグラムの投稿文が削除され、暗号資産の取引もできなくなったため、不審に思い警察に相談した。
67	秋田県警をかたる不審電話の発生について	６月18日（水）午前11時50分頃	湯沢市居住の50代女性	なし	相談者の携帯電話に、見知らぬ番号から電話があり、秋田県警をかたる男から「事件に巻き込まれているので話を聞きたい、時間はあるか」と言われた。相談者が忙しいと答えると、男は「また電話する」と言われ電話は切れた。
68	ＳＮＳ型投資詐欺被害の発生について	４月下旬から６月30日（月）まで	横手市居住の50代女性	現金合計約1,450万円	４月下旬、被害者のスマートフォンに男性を名乗る相手から「投資に興味はないか」とＬＩＮＥメッセージが届いた。連絡を取り合ううちに紹介された別のアカウントを通じ、投資仲間が集うというＬＩＮＥグループに誘導された。被害者はグループメンバーに勧められ、投資サイトに登録した。その後、投資金や利益を出金する手数料の支払いを要求されるようになり、指定された個人名義の口座に６月30日まで10回にわたり、現金合計約1,450万円を振り込んだ。指示に従っても出金できず、さらに所得税として現金を要求され、不審に思い警察に相談した。
69	ＳＮＳ型投資詐欺被害の発生について	３月下旬から６月６日（金）まで	横手市居住の50代男性	現金100万円	３月中旬、被害者は投資に関するユーチューブ動画を視聴し、配信者に促されて概要欄からＬＩＮＥグループに参加した。グループ内で新規公開株の投資を勧められたほか、女性を名乗るアカウントを登録し、個別にメッセージのやり取りをするようになった。投資金を振り込むように指示された被害者は６月６日、指定された個人名義の口座に送金した。相手から送られてきたＵＲＬから投資状況を表示するというアプリを登録したところ、振り込んだ額が２倍に増えて利益が出たように示されていた。男性は再び投資を申し込んだが、高額な投資金を要求され不審に思い、警察に相談した。
70	特殊詐欺被害の発生について	７月６日（日）	横手市居住の60代男性	電子マネー利用権10万円分	７月６日、相談者の携帯電話に「利用料金について確認したいことがある」とのショートメッセージが送られてきた。記載された番号に電話すると、ＮＴＴファイナンスをかたる男から「未納料金があり訴えられるかもしれない」と言われたため、指示に従いコンビニで電子マネー利用権10万円分を購入し、利用するための番号を教えた。その後、男から更に未納料金があるとの連絡を受けたことから不審に思い、警察に相談した。

71	特殊詐欺被害の発生について	６月下旬から７月22日（火）まで	横手市居住の40代男性	電子マネー利用権４万円5,000円分	６月下旬、自宅でフェイスブックを閲覧していたところ、女性を名乗るアカウントから友達申請があり、ＬＩＮＥで連絡を取り合うようになった。相手から別の女性を紹介され、その女性とデートするために、相手の指示に従って電子マネー5,000円分を送金した。その後、6,000円分の電子マネーが返金された。被害者は、紹介された女性とデートするには会員カードを発行する必要があると言われ、審査を行うという別のアカウントとＬＩＮＥで連絡を取るようになった。支払った金額を全額返金するという相手の指示に従い、７月22日まで２回にわたり、電子マネー利用権計４万円分を送金した。返金がなかったため、被害者は詐欺を疑い警察に相談した。
72	宅配業者等をかたる不審電話の発生について	７月25日（金）午前10時頃	横手市居住の70代女性	なし	相談者宅の固定電話に宅配業者をかたる男から電話があり「あなたが札幌に送った荷物の本の中に現金が入っている、札幌緊急通報ダイヤルに回す」と言われた。その後、札幌中央警察署二課をかたる男に代わり「詐欺グループの犯人があなた名義の通帳を持っていた、仲間としての疑いがある、拘束に行く」などと言われたが、不審に思い電話を切った。
73	特殊詐欺被害の発生について	７月29日（火）から７月30日（水）までの間	横手市居住の60代男性	現金80万円	７月29日午後６時頃、被害者の携帯電話に＋で始まる番号から着信があり、ＮＴＴのカワグチと名乗る男に「プライム会員の契約で未納料金が30万円ある」などと言われ、指定された個人名義の口座に現金30万円を振り込んだ。翌30日には＋から始まる別の電話番号から電話があり、サイバー犯罪対策課のサイトウと名乗る男に「ウイルス対策とプライム会員の解約をしなければ裁判沙汰になる、弁護士費用50万円を支払わなければならない」などと言われ、個人名義の口座に現金50万円を振り込んだ。被害者から相談を受けた家族が警察に通報して被害が発覚した。
74	ＳＮＳ型ロマンス投資詐欺被害の発生について	６月上旬から８月３日（日）までの間	横手市居住の50代女性	暗号資産合計94万1,000円相当	被害者は、６月上旬、インスタグラムを通じて韓国人の男を名乗る相手と知り合い、ＬＩＮＥでやり取りを重ねるうちに親近感を抱くようになった。６月下旬、相手に「私の言う通り投資をすれば必ず利益を出せる」と誘われ、指示に従い６回にわたって合計94万1,000円相当の暗号資産を購入した。その後「資産が増える」として相手から投資先を紹介され購入した全額を送金した。８月３日に税金の支払いを指示されたほか、投資利益が不明なことを不審に思い、警察に相談した。
75	特殊詐欺被害の発生について	７月30日（水）から８月18日（月）までの間	横手市居住の20代女性	電子マネー利用権23万4,000円相当	７月30日、被害者がインスタグラムを閲覧中、副業に関する広告が表示されたことから、同広告をタップした。ＬＩＮＥに移行して表示されたアカウントを追加すると、相手に「動画のスクリーンショットを送るだけで稼げる」という副業を紹介された。被害者が指示通り画像を送ると、決済アプリＰａｙＰａｙ（ペイペイ）に約１万円が入金された。その後、報酬がより高額な副業用アプリをインストールするよう求めれて従った。被害者は相手からの課題として指定された時間に副業用アプリにログインしようとしたところ、操作を誤ったとして３万9,000円を請求され、相手から指定されたＰａｙＰａｙのアカウントに電子マネー３万9,000円を入金した。さらに「19万5,000円を振り込めば、報酬も上乗せして返金する」と伝えられ、８月18日に入金した。入金後、違約金の支払いを要求されたことから不審に思い、警察に相談した。
76	宅配業者をかたる不審電話の発生について	９月13日（土）午前10時頃	横手市居住の40代女性	なし	相談者宅の固定電話に宅配業者をかたる男から電話があり「あなた名義で北海道に現金が大量に送られている。早急に止めるため携帯電話番号を教えて」と言われた。相談者が番号を伝えると、北海道警のサトウと名乗るＬＩＮＥアカウントとやり取りが始まった。相談者は男から警察手帳のようなものを見せられ、預金口座情報を教えてほしいなどと言われ、名前や住所、銀行口座などを伝えた。その後詐欺を疑い、警察に相談した。
77	特殊詐欺被疑者の逮捕について	９月23日から翌24日	横手市居住の70代女性	現金100万円	横手署は９月27日、東京都八王子市、無職栗原正太41歳を詐欺の疑いで逮捕した。逮捕容疑は、氏名不詳者らと共謀し、９月23日から翌24日にかけ、被害者宅に孫をかたって電話をかけ「喫茶店でスマホや財布、会社の書類が入ったかばんをなくした」「会社に100万円を払わないといけない」「上司の息子が受け取りに行くので玄関で待っていてほしい」などとうそを言い、９月24日に被害者宅で紙袋に入った現金を受けてだまし取ったもの。
78	ＳＮＳ型ロマンス詐欺被害の発生について	９月上旬から10月７日（火）までの間	横手市居住の50代男性	現金564万7,200円	９月上旬、出会い系サイトで日本人女性を名乗る者と知り合い、ＬＩＮＥで連絡を取り合ううちに好意を抱くようになった。相手からブランド品のショッピングサイトで売買を仲介する副業に誘われ、客が注文した商品の代金を立て替えれば手数料とともに戻ってくると説明された。被害者は商品代金の立替金として、10月７日までインターネットバンキングで法人や個人名義の口座に８回にわたって計564万7,200円を振り込み、だまし取られた。金融機関から、被害者の口座で不審な取引があると警察に情報提供があり発覚した。
79	ＳＮＳ型ロマンス詐欺被害の発生について	９月28日（日）から10月６日（月）までの間	横手市居住の60代女性	現金約37万円	９月28日、ＴｉｋＴｏｋを閲覧していたところ、韓国人を名乗る者からダイレクトメッセージが届き、ＬＩＮＥで連絡先を交換し、やり取りするうちに好意を抱くようになった。10月６日に相手から「高額なプレゼントを送ったが、送料は受取人が事前に支払わなければならない。プレゼントと一緒に送料分の現金も入れた」などとメッセージが届いたため、横手市内の金融機関のＡＴＭで指定された個人名義の口座に約37万円を振り込んだ。その後、相手の指示で配送業者のサイトで配送状況を確認すると、「荷物に現金が入っており、マネーロンダリングの疑いがある。解決のため243万円振り込め」などと通知された。10月８日、被害者が横手市内の金融機関の窓口で振り込もうとした際、対応した職員が不審に思い、送金を取りやめさせ、警察に届け出た。
80	特殊詐欺被害の未然防止功労に対する署長感謝状の贈呈について			なし	秋田銀行横手条里支店の行員二名は、10月８日、来店した60代女性が、高額な現金の振込を申し込んだことから、確認したところ、特殊詐欺被害が疑われたため、女性を説得するとともに警察に通報するなど適切に対応し、被害を未然に防止したもの。

81	特殊詐欺被害の発生について	10月13日（月）	岩手県居住の40代男性	電子マネー利用権30万円分	10月13日午後７時頃、被害者の携帯電話に「＋」から始まる番号から着信があった。自動音声に従って番号を入力すると、オペレータの酒井と名乗る男につながり、「動画サイトに登録されていて、１年間料金が未納」「今日中に支払わないと東京で裁判になる」などと言われた。被害者は身に覚えがなかったが、相手に支払う意思を伝えると「約28万円を支払うと95パーセントが戻ってくる」などと告げられ、横手市内のコンビニエンスストアで電子マネーのギフトカードを購入し、利用に必要な番号を相手に伝え、利用権30万円分をだまし取られた。
82	病院職員等をかたる不審電話の発生について	10月16日（木）午後１時30分頃	横手市居住の70代男性	なし	10月16日午後１時30分頃、相談者宅の固定電話に病院職員をかたる男から電話があり「病院駐車場にあなたの診察券と銀行のカードが落ちている」などと言われた。相談者は心当たりがないと伝えたが、その後、横手警察署捜査二課をかたる男から電話があり、「病院職員から電話がきた」などと言われたが、相談者は不審に思い、電話を切った。
83	ＳＮＳ型投資詐欺被害の発生について	令和７年７月上旬から10月24日（金）までの間	横手市居住の60代男性	(1)現金142万円 (2)暗号資産合計795万円相当	被害者は７月上旬頃、日本人を名乗る３人の女性とマッチングアプリで知り合い、「元本が保証されてリスクはない」とＬＩＮＥで勧められた三つのサイトに登録して投資を始めた。するとカスタマーサービスの担当者を名乗る者から、投資金や情報漏えいの違反金、保証金などを支払うよう指示され、指定された個人名義の口座と暗号資産取引用アドレスに複数回にわたり、現金合計142万円、暗号資産合計795万円相当を送金した。その後、被害者は投資の利益が換金できず、不審に思い、警察に相談し被害に遭ったことに気付いたもの。
84	ＳＮＳ型投資詐欺被害の発生について	９月３日（水）から10月19日（日）までの間	横手市居住の50代男性	現金10万円	９月３日、被害者はＳＮＳで投資に関する広告を見つけてアクセスしたところ、投資会社のアシスタントを名乗る相手と知り合い、ＬＩＮＥグループに追加された。グループ内では、今注目の株などが紹介されていたほか、投資で利益が出たとのやり取りが展開されており、自身も投資をしたいと相手に連絡した。指示に従って口座を開設するなどした後、投資金の名目で現金10万円を求められたため、10月19日に横手市内の金融機関のＡＴＭから、指定された個人名義の口座に現金10万円を振り込んだ。被害者は入金後、さらに投資金を要求されて不審に思い、相手の投資会社の名前を調べると実在しなかったため詐欺だと気付き、警察に届け出た。
85	ＳＮＳ型ロマンス詐欺被害の発生について	６月頃から10月30日（木）までの間	横手市居住の50代女性	現金130万円	被害者は、本年６月頃、ＴｉｋＴｏｋを通じて秋田県内在住の男性を名乗る相手と知り合い、ＬＩＮＥの連絡先を交換してやりとりするうち相手に好意を抱くようになった。10月に入り、相手から「アメリカに行きたい、渡航費用を負担してほしい」などと求められた。被害者は、相手に好意を抱いていたため、これを信用し、10月20日から30日までの間、インターネットバンキングや横手市内の金融機関のＡＴＭで指定された個人名義の口座に、３回にわたって計130万円を振り込んだ。その後、被害者が両親に相談して被害に気付き、警察に届け出た。
85	ＳＮＳ型ロマンス詐欺、特殊詐欺被害の発生について	令和６年４月頃から令和７年11月10日（月）までの間	横手市居住の60代男性	電子マネー利用権合計42万8,000円	令和６年４月頃、被害者のフェイスブックのアカウントにＵＲＬが添付されたメッセージが届き、クリックするとスマートフォンにマッチングアプリがインストールされた。被害者はアプリで女性を名乗る相手と知り合い、ＬＩＮＥでやりとりするうちに好意を抱き「私にお金を預ければ、もうけている会社に投資して稼げる」などと告げられた。昨年12月から今年８月、指示に従い横手市内の複数のコンビニエンスストアで電子マネーを購入して利用番号を相手に伝え、計42万円分の利用権をだまし取られた。11月７日には、ＬＩＮＥに10億円が当たる抽選への参加権があるとのメッセージが届いた。誘導されたアカウントで「受け取るにはお金を払う必要がある」と促され、市内のコンビニで8,000円分の電子マネーを購入。11月10日までに２回にわたって利用番号を伝え、利用権をだまし取られた。被害者は10億円の送金がないことなどを不審に思い、警察に届け出て被害が発覚した。捜査の過程でＳＮＳ型ロマンス詐欺にも遭っていることが分かった。
86	ＳＮＳ型投資詐欺被害の発生について	９月３日（水）から11月10日（月）までの間	横手市居住の50代男性	暗号資産合計2,250万円相当	９月３日、被害者はフェイスブックを通じて女性を名乗る相手と知り合い、ＬＩＮＥでやり取りするようになった。相手から「私たちが投資しているのは国際ゴールド市場の短期取引で安定しながらも柔軟だ」「わずか５万円から学びながら挑戦できる」などと投資に誘われ、指示に従い暗号資産取引サイトで４回にわたって計1,450万円相当の暗号資産を購入した。指定された暗号資産取引用アドレスに送金すると、相手から紹介された投資サイトで利益が出ているように表示された。その後、利益を払い出そうとした際、相手から「利益が膨大なので手数料が必要」などと告げられ、11月10日に出金手数料名目で相手の指定するアドレスに800万円相当の暗号資産を購入し、相手の指定する暗号資産アドレスに送金した。被害者が送金後も利益を出金できなかったことを不審に思い、11月12日に警察に届け出て被害が発覚した。
87	特殊詐欺被害の未然防止功労に対する署長感謝状の贈呈について			なし	ローソン増田町店は、11月16日、来店した50代男性が携帯電話で会話をし、会話内容の一部から特殊詐欺被害が疑われたことから、声掛けをして、警察への相談を促すなど適切に対応し、被害を未然に防止したもの。

88	特殊詐欺被害の発生について	10月19日（日）から10月28日（火）までの間	横手市居住の20代男性	現金231万円	10月19日、被害者がインターネットで副業を探していたところ「最新ＬＩＮＥ副業」「スマホ一つで高収入が目指せる」などとうたうサイトを見つけた。指示に従いＬＩＮＥアカウントを登録し、勧められた「ｍｅｔａｍａｓｋ．ｃｏｍ」というサイトにアクセスした。ＬＩＮＥで人工知能（ＡＩ）が自動で暗号資産を運用すると説明され、サイト上のスタートボタンを押すと30万円だった資金が増加し300万円を超えた。資金を引き出そうとしたところ、指定された法人名義の口座に現金を振り込むように指示されたため、10月25日から28日までの間に５回にわたり、現金合計231万円を振り込みだまし取られた。お金を振り込んだあと、相手と連絡が取れなくなり、詐欺被害に気が付いたもの。
89	特殊詐欺被害の発生について	10月31日（金）から12月３日（水）までの間	横手市居住の70代女性	合計約195万円分の暗号資産	10月31日、被害者方の固定電話に、楽天お客様センターを名乗る男から電話があり「個人情報が流出し、あなた名義で携帯電話が不正に契約された」「被害届受理証明書を発行してほしい」などと言われた。警察官を名乗る男に電話が代わりＬＩＮＥに誘導されたほか、秘匿性の高い通信アプリテレグラムをインストールさせられ、「詐欺事件の重要参考人として取調べをする」などと言われたほか、テレビ電話を通じて逮捕状や差押許可状のようなものを示された。その後、検事を名乗る男から「身の潔白を証明するためには暗号資産で金を振り込む必要がある」などと言われ、被害者は指示に従い暗号資産取引サイトで暗号資産約195万円分を購入し、12月３日に指定されたアドレスに送金した。送金後に暗号資産用の口座が凍結されたため、被害者は県外の銀行で解除を依頼。対応した行員が詐欺被害を疑い通報した。
90	特殊詐欺（オレオレ詐欺）被疑者の逮捕について	12月11日から12月15日までの間	横手市居住の70代の被害者	現金205万円	横手署は12月16日、自称台湾籍、住居不詳、職業運転手、ペンイェンリン35歳男性を詐欺の疑いで逮捕した。特殊詐欺の受け子とみられる。逮捕容疑は、氏名不詳者らと共謀して、12月11日から12月15日までの間、警察官になりすまし、被害者宅に電話で「マネーロンダリングで逮捕した犯人が、あなたも共犯で、口座に謝礼を振り込んだと供述している。口座のお金を確認する」などとうそを言い、12月15日、被害者に現金を自宅郵便受けに入れて置くように指示し、同所から封筒に入れて置いていた現金205万円をだまし取った疑い。
91	特殊詐欺被害の発生について	11月下旬から12月９日（火）までの間	横手市居住の70代男性	現金合計200万円	11月下旬、被害者宅に楽天お客様サポートセンターのナカイを名乗る男から電話があり「あなた名義の携帯電話で大量に違法メールが送信されている」などと伝えられた。被害者が担当者の連絡先として伝えられた番号に電話すると警察官や検事をかたる男に「逮捕した詐欺グループのスマートフォンにあなたの連絡先があった。捜査に協力すれば無実を証明できる」などと言われた。12月になると被害者宅に連絡用だとしてスマホが送りつけられ、秘匿性の高い通信アプリ「テレグラム」で「口座の金が犯罪で得たものか調べる」と告げられた。被害者は４回にわたり、指定された個人名義の口座に計400万円を振り込み、だまし取られた。被害者が状況を知人に相談すると詐欺の可能性を指摘され、警察に届け出て被害が分かった。
92	特殊詐欺被害の発生について	12月28日（日）	横手市居住の60代男性	電子マネー利用権合計154万円	12月28日、被害者が自宅においてパソコンでインターネットサイトを閲覧しようとした際、警報音が鳴って、画面が固まった。そのため、ウイルス感染したと思い、画面に表示された電話番号に連絡すると「パソコンが故障した、修理に必要なので電子マネーのカードを買ってください」などと言われた。相手の指示に従って、横手市内のコンビニ５店舗で、電子マネー利用権合計154万円を購入し、番号を相手に教えたもの。多額の購入を不審に思った店員が警察に連絡して被害が分かった。